

宇土市の家計簿

《平成17年度決算》

市の財政状況を説明する際、専門用語が分かりにくく、また桁が大きすぎて、なかなか実感がわかない面があります。そこで、今回、市の決算状況を『役所さんちの家計簿』に例えてみました。

市の財政と家庭の家計簿では仕組みが違い、例えば多少無理がある面もありますが、身近な話題に置き換えて、市の財政を考えてみたいと思います。

◆宇土市に住んでいる役所さん宅は5人家族です。

- ・お父さんの太郎さんは、地元の企業に勤務するサラリーマンです。
- ・お母さんの花子さんは、近所のスーパーでパートをしています。
- ・長男の一男さんは、県外の大学に通う大学生で、毎月仕送りを受けて生活しています。
- ・長女の一美さんは、地元の高校に通う高校生です。
- ・おじいさんの宇土衛門さんは、病院に入院しています。



◆家庭に置き換えた金額は、17年度の民間企業における平均年収とほぼ見合う規模になるよう、決算額に置換えのための係数（1/2500）を乗じています。

役所さんちのある日の会話

花子 お父さんの会社の給料って、なかなか上がらないわねえ。

太郎 ああ、そうなんだよ。最近、業績は回復してきているから基本給は上がってるんだけど、会社の方針で諸手当が減額されててね（※1）。

昇給はしてもその分手当も減ってるから、もらえる給料はなかなか増えないんだ。昨年の年収はどれくらいだったのかなあ？

花子 家計簿を見るからちよつと待ってね。

基本給は141万6千円、諸手当は282万9千円で、合計424万5千円だったわ。その他に私のパート収入が40万5千円、一美の部屋の家財道具を買ったときに借入金で59万6千円、一昨年の残金が6万7千円、その他臨時収入が8千円。それでも足りなくて預金を11万5千円おろしたわね。つまり、我が家の昨年の借

入金を含めた収入は543万6千円になるわね。

太郎 うーん。預金をおろさないとやりくりできなかったんだねえ。

花子 そうなのよ。これからお金の使いみちを真剣に考えないと、家計が心配だわ？

太郎 そうだね。昨年は何にどのくらいのお金をかけていたんだっけ。

花子 えーと。食費に98万円、おじいちゃんの医療費と一美の学費に93万4千円、ローンの返済に103万円も支払っているわ。この3つが支出の大半を占めているわね。

そのほかに、一男の仕送り47万7千円、お父さんのお付き合いなどに62万9千円、株式投資13万3千円、生活雑費45万9千円、一美の部屋を模様替えしたときの家財道具一式で66万9千円、庭の手入れや台風のときの備えの用具類に合わせて4万5千円、貯金

も6千円支出していて、合計で536万2千円だったわ。

太郎 ということは、見た目には7万4千円の黒字だけど、貯金をおろさなければ4万1千円の赤字だったってことだね。

花子 ええ。とにかく収支を合わせるために、昨年からのいろいろなやりくりをしているのよ（※2）。

太郎 へえ、どんなこと？

花子 まず収入では、お父さんの基本給アップで9千円増えるけど、このほかに私のパート出勤を増やしたことで3千円、要らなくなった洋服なんかもフリーマーケットで売ったりして4千円、収入を上げたわ。支出でも、食費を切り詰めて3万6千円減らしたし、生活用品も無駄なものではできるだけ買わないようにして6千円減らしたわ。同僚の方たちとの会合へ参加する会費なんかも1万9千円減らしてるから、お父さんのお付き合いも随分、我慢してもらったわね。

太郎 まあ、しかたないよ。

花子 それに一美の部屋の模様替えだって、最初に考えていた形からできるだけお金がからない形にして6万9千円減らしたし、一男もできるだけアルバイトして生活費を賄ってもらって、1万9千円だけ仕送りが少しでも減るようにしたのよ。

これだけで、16万5千円も改善したんだから。

太郎 それだけやりくりしてるのに、まだ厳しいの？

花子 やっぱ、おじいさんの医療費や一美の学校にかかるお金が増えるし、ローンの返済も大変なのよ。収入はなかなか増えないんだから…。

まあ、ローンの返済は一年ピークを過ぎたから、これから減っていく(※3)し、借入先に一部を繰上償還してるから、その分もこれから少しは楽になってくるけど…。

ここ2、3年が特に厳しいから、この間は預金を引き出して収支は合わせるけど、昨

年末でもう43万8千円しか残ってないわ。預金がなくなると急に出費が必要なとき本当に困るわ(※4)。

もっと知恵を絞って、生活を切り詰めなきゃ。

太郎 そうだね。とりあえず今年も昨年のようなやりくりをしていかなきゃならないな。

それに、借入金で家財道具を購入したり、家を改築したりするのは、必要最低限のものだけにしよう。これまでの考えも改めないからね。

一美 えー。旅行にも行きたいし、テレビも買い換えて欲しいし、高級レストランにも連れて行ってほしいし、いろいろお願いがあるんだけどな。

花子 だめよ。そんなこと言ってる場合じゃないのよ。家族みんなで協力しなきゃ、これからやっていけないんだから。

一美 わかったわ。私にできることがあったら何でも言うてね。

太郎 ありがとう、一美。

収入	家庭での収入		市での歳入項目（一般会計）		構成比
	給与		地方税		
	(基本給)	141万6千円		35億3,956万2千円	26.1%
	(諸手当)	282万9千円	地方交付税・各種交付金	51億9,622万4千円	38.2%
			国県支出金	18億7,653万9千円	13.8%
	パート収入	40万5千円	使用料・手数料、分担金・負担金、諸収入	10億1,264万8千円	7.5%
	その他臨時収入	8千円	寄附金、財産収入	2,038万6千円	0.2%
	ローンの借入れ	59万6千円	地方債	14億8,900万円	11.0%
	前年の残金	6万7千円	繰越金	1億6,701万5千円	1.2%
	預金の引き出し	11万5千円	繰入金	2億8,823万3千円	2.1%
	合計	543万6千円	合計	135億8,960万7千円	100.0%

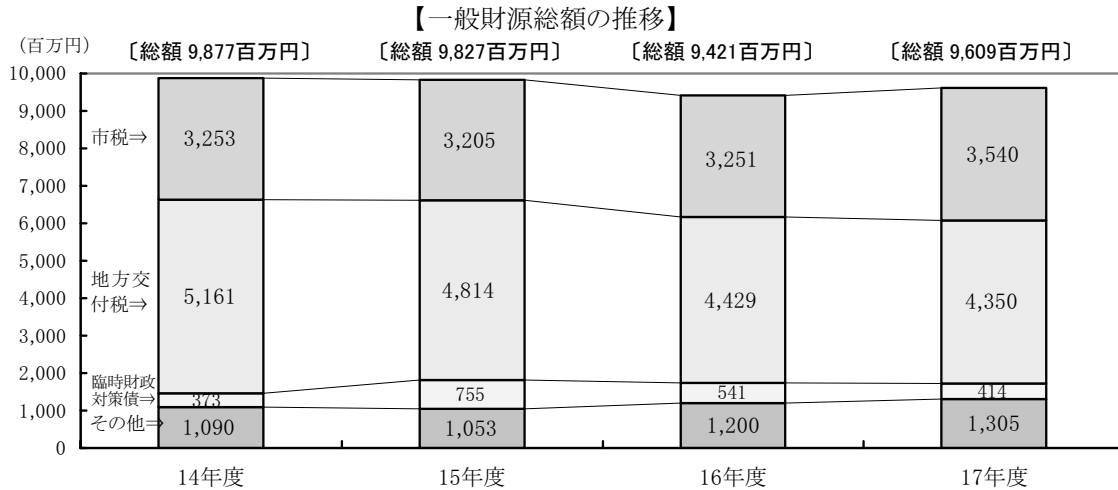
支出	家庭での支出		市での歳出項目（一般会計）		構成比
	食費		人件費		
		98万円		24億4,929万4千円	18.3%
	医療費や長女の学費	93万4千円	扶助費	23億3,446万9千円	17.4%
	ローンの返済	103万円	公債費	25億7,591万6千円	19.2%
	生活雑費	45万9千円	物件費	11億4,712万2千円	8.6%
	家や庭の手入れ・修繕など	4万3千円	維持補修費	1億816万4千円	0.8%
	家の増改築や家財具・車の購入など	66万9千円	普通建設事業費	16億7,232万9千円	12.5%
	地震・台風災害時の応急処置	2千円	災害復旧費	379万9千円	0.0%
	長男への仕送り	47万7千円	繰出金	11億9,151万2千円	8.9%
	区費やサークル・会合への会費や同僚との付き合いなど	62万9千円	補助費等	15億7,221万7千円	11.7%
	貯金	6千円	積立金	1,527万5千円	0.1%
	株式投資	13万3千円	投資及び出資金	3億3,170万円	2.5%
	合計	536万2千円	合計	134億179万7千円	100.0%

「役所さんちのある日の会話」のうち、波線部分の※1～※4は、P6、7で詳細を説明しています。



(※1) 平成16年度から実施された国の「三位一体の改革」によって、国庫補助負担金の廃止縮減、税源移譲、地方交付税の見直しが一体的に進められてきました。

年々、税収入は増えていますが、地方交付税や臨時財政対策債等が減額されるため、市がその使い方を自由に決めることができる一般財源は、なかなか増加しない状況です。



(※2) 平成16年11月に策定した「宇土市財政健全化推進プラン」の取り組みによって、概ね4億1,100万円程度の改善効果がありました。家計に例えると次のようになります。



家庭での収入に例えると…。		財政健全化推進プランの取り組み	
昇給による給料増（基本給）	9千円増	施策2 市税等の収納率向上	2,400万円
パートの出勤増（パート収入）	3千円増	施策11 受益者負担の見直し	700万円
フリーマーケットでの古着売上げ（その他臨時収入）	4千円増	施策3 市有財産の有効活用	1,000万円
合 計（A）	1万6千円増	合 計（A）'	4,100万円

家庭での支出に例えると…。		財政健全化推進プランの取り組み	
食費の切り詰め（食費）	3万6千円減	施策4 職員数の削減	▲7,100万円
生活用品の出費抑制（生活雑費）	6千円減	施策6 職員給等の見直し	▲1,900万円
サークル・会合への会費抑制（補助費等）	1万9千円減	施策1 内部管理経費の削減	▲1,200万円
部屋の模様替えに係る出費抑制（家の増改築等）	6万9千円減	施策15 市議会経費の見直し	▲300万円
仕送り額の減額（長男への仕送り）	1万9千円減	施策8 市単独補助金等の見直し	▲4,800万円
合 計（B）	14万9千円減	施策9 投資的経費の縮減	▲1億7,100万円
		施策10 特別会計繰出金の抑制	▲4,600万円
		合 計（B）'	▲3億7,000万円

収支改善額（A）－（B）	16万5千円	収支改善額（A）'－（B）'	4億1,100万円
--------------	--------	----------------	-----------

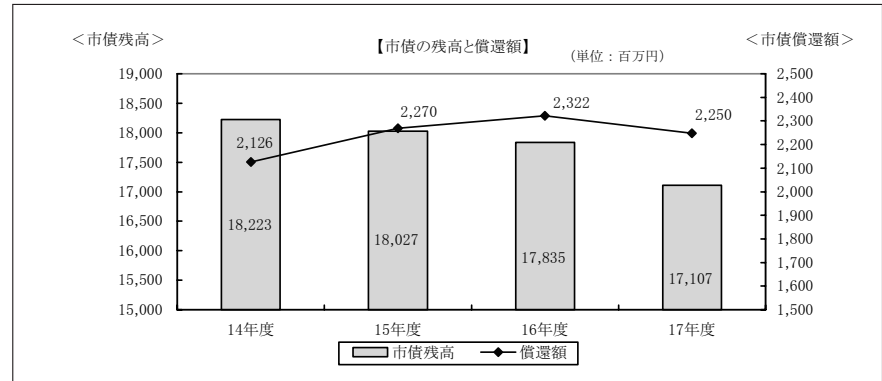


(※ 3) 市債残高は 14 年度末に 182 億 2,300 万円だったのが、17 年度末には 171 億 700 万円になっています。

家計に例えると 684 万 2 千円のローン残高があることになります。

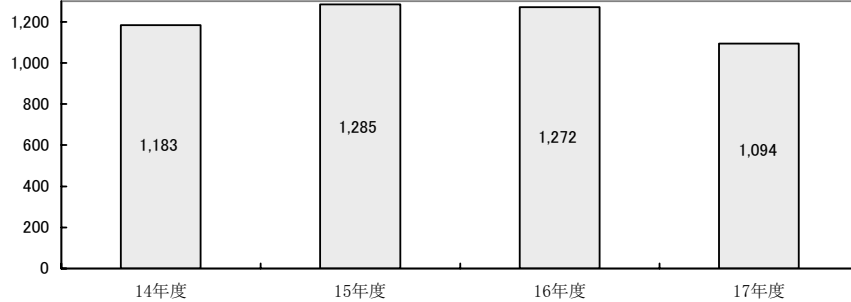
また、償還額については、17 年度で 3 億 2,794 万円の繰上償還を行っておりますので、その分を差引くと 22 億 5,000 万円償還しなければならなかったことになります。

家計に例えると、繰上償還分が 13 万 1 千円、定期償還分が 89 万 9 千円で、合計 103 万円のローン返済をしたことになります。



(百万円)

【財政調整基金及び減債基金の残高】



(※ 4) 財政調整を行うための基金（財政調整・減債）残高は、15 年度に 12 億 8,500 万円であったのが、17 年度には 10 億 9,400 万円に減少しています。

家計に例えると 43 万 8 千円の預金残高となります。

財政調整を行うための基金は、災害や緊急に実施することが必要な事業のために積立てておかねばならない面もあり、底をつくことがないように引き続き財政健全化推進プランの取り組みを強化して収支改善を図っていく方針です。



特別会計の決算額

なお、特定の歳入で特定の支出にあて、一般の歳入歳出と切り離して経理するときに設けられる会計については、次のとおりです。

会計区分		17 年度	対前年度 伸率
国民健康保険	歳入	37 億 2,424 万 1 千円	0.5%
	歳出	37 億 2,164 万 7 千円	1.4%
簡易水道事業	歳入	1 億 2,225 万 4 千円	▲ 27.6%
	歳出	9,872 万 2 千円	▲ 6.2%
交通災害共済事業	歳入	1,103 万 7 千円	56.6%
	歳出	1,103 万 7 千円	125.7%
奨学基金	歳入	126 万 8 千円	▲ 6.9%
	歳出	120 万 円	▲ 11.1%
会計区分		17 年度	対前年度 伸率
公共下水道事業	歳入	11 億 5,167 万 5 千円	▲ 20.5%
	歳出	11 億 2,704 万 7 千円	▲ 20.4%
老人保健医療	歳入	41 億 5,681 万 2 千円	2.8%
	歳出	41 億 5,681 万 1 千円	2.8%
介護保険	歳入	23 億 6,223 万 1 千円	0.9%
	歳出	22 億 9,523 万 6 千円	▲ 1.0%
漁業集落排水施設 整備事業	歳入	1,647 万 円	▲ 86.2%
	歳出	1,206 万 2 千円	▲ 89.8%